

はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 21世紀記念公園麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL924-2194 FAX924-2195

樹冠いっぱい緑があふれています

【くちなしの花】



【麓山の杜 7月のイベント】事前予約要

☆7/20(土) 10:30~12:30 プリザベーションフラワー教室

13:30~15:30 //

☆7/21(日) 10:30~12:30 緑化啓発園芸教室

☆7/24(水) 10:00~12:00 こども茶道教室

☆7/27(土) 10:30~12:30 園芸教室

☆7/28(日) 10:30~12:30 レザークラフト教室

☆7/31(水) 10:00~12:00 こども茶道教室

ガーデニング ワンポイント

夏の鮮やかな花々が咲きだします

今年は梅雨に入っても降雨が少なく樹木にとっては雨が待ち遠しい日が続きました。それでも時期が来ると花をつけ私達を楽しませてくれます。その一つにナツツバキがあり咲き続けています。緑の葉の中に咲く純白の花が蒸し暑い天気を忘れさせてくれます。これからは情熱的な色鮮やかな花も咲きだします。

【水やり】 今年の春以降は降水量が少なく乾燥した状態が続き樹木には水やりが必要でした。植物は水なしでは生きられません。水やりは毎日少しずつあげるのではなく乾燥した時にどっぴりとあげます。これからは温度も上がりますので特に梅雨明け後は水不足で萎れないようにします。夏越しの為の水やりはとても大切でまた難しい作業です。直射日光や暑さに弱い種類は日陰に移すか寒冷紗などで光を弱めます。樹木は根元を腐葉土などでマルチングをすると乾燥や暑さを和らげます。

【肥料】 ツツジ類などは開花剪定後にはお礼肥として緩効性化成肥料をあげます。そうすることによって弱ることなく成長し来年の花芽もできます。芝生には刈込後に化成肥料(8-8-8など)をあげます。多くの樹種は暑い時期を迎えるこれからは、肥料を必要とはしません。

【病害虫防除】 この時期は病害虫が多く発生します。梅雨明け後にはハナミズキやシラカシなど多くの樹種にうどん粉病が発症しやすいため殺菌剤の散布が必要です。カイガラムシやアブラムシが次から次と発生していますので注意が必要です。先月末からアメリカシロヒトリの一回目の発生がみら

【お知らせ】

◇記念樹交付日について◇
真夏・真冬の時期は、交付は行いません。

(次回交付日)

- ・ 9月 8日(日)
- ・ 10月 20日(日)
- ・ 11月 10日(日)
- ・ 3月 9日(日)

21世紀記念公園 麓山の杜「みどり通信 No.85」 発行日：平成25年7月6日
 れます。こちらは予防の為に薬剤はありませんので発生した場合は、拡がらないうちに退治します。害虫の種類によっては毒を持っている場合もありますので注意してください。（一例としてマイマイガやマツカレハやチャドクガなど） 昨年は夏の高温と少雨による衰弱が重なりマツノマダラカミキリによるマツ枯れが多く見かけました。予防の為に薬剤散布が先月に引き続き必要になります。病害虫に対してはこまめに観察して拡がらないうちに退治するようにします。そうすれば薬剤なども少なく済みます。病気の発生した落ち葉などは処分することにより次の発症が少なくなります。一般的には余分な枝などを剪定して風通しを良くするのも大事です。

【剪定】 針葉樹の刈込剪定は早めにすませます。刈った後から直ぐに萌芽するようにします。マツ類の剪定は新梢を切るだけに留め古葉は残して置くのが無難です。常緑樹は伸びる芽の上で切るようにします。生垣も剪定をすることにより密な形になります。開花後のツツジ類は早めに剪定をして来年の花芽を付けるようにします。アジサイも開花後には花の下で芽のある上で切ります。落葉樹は強い剪定は控えます。切り過ぎると枯れてしまう事もあります。しかしドウダンツツジは新芽が固まってきたこの時期に剪定をします。剪定を行った樹木には樹幹全体に水やりをして弱るのを防ぐようにします。

【植え替え】 梅雨の間は常緑樹の植え替えは可能です。しかしすぐに暑い夏がやってきますので、無理に植え替えをするのは控えます。秋の彼岸頃まで待つようにします。落葉樹は晩秋からが適期になります。何事も適期を逃さないで作業する事が大事です。

| 次回交付日 | みどり講習会 | 季節のワンポイント |
|----------|-------------|---------------|
| 9月 8日（日） | 記念樹の育て方初歩講座 | 今秋と来春開花の樹木の管理 |

【交付日イベント・緑化相談等予定表】

近頃、気になる害虫です！

カエデ類やツツジ類など多くの樹木につくカミキリムシの被害が目立ってきました。地際近くの幹に侵入するシロスジカミキリとは違います。幹から細い枝先までいたる所に侵入します。1~2mm程の小さい穴を開けてそこから木屑を出しています。弱い風でも枝が折れたり、虫害が進むと大きな樹木でも枯らしてしまいます。その手強い害虫はアオカミキリです。この様な穿孔性害虫の防除は厄介です。

街で見かけた樹木 【アメリカアジサイアナベル】（落葉低木 ヱノキ科アザミ属）

最初はライムグリーンの花が純白になり丸い玉のような形で咲いています。今年伸びた枝の先に花をつける性質の為、春先に強く剪定をします。赤やピンクの花の品種も出回り始めました。開花前の葉を見るといつも見慣れているアジサイと違います。日陰にも向き明るさを演出してくれます。

